



JAMCA ニュース

No.121

2024年4月1日

発行
協会事務局
編集事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

公共職業能力開発施設との競合について

日産・自動車大学校 学長 本廣 好枝
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

新年度が始まり、各校に置かれましては希望に満ちた新生を迎えられていることと思います。前号にもありましたように、JAMCAとしては今後コンプライアンス教育にも力を入れ、「国民の生命と安全を守る」整備士を育成し、社会の発展に貢献していくことが使命と考えています。

さて、質の高い教育をすることは学校の本業であり努力範囲ですが、一方で入学者数をいかに確保していくか、という課題は学校側の努力だけでは立ち行かない状況になってきていると思います。国交省は「自動車整備の高度化に対応する人材確保の対策」ワーキングを立ち上げ、昨年度は様々な取り組みをしてくださりました。これまでの活動に加え、高校生たちに対するお仕事体験事業や、ジャパンモビリティショーにおける子供向け整備体験企画など、それぞれに整備士という職業を意識するという点において一定の効果をもたらしたと思います。しかしながら、まだまだその成果は未知数であり、更なる制度的なバックアップを求めたいと思います。

国からの認可を受けて設立されている整備専門学校は、整備士不足という危機的な社会課題のためにもっと多くの学生を育成

する必要があり、そのためにはこれまで以上に行政からも力強い後押しを頂けることを願っています。

今回は、その入学者数に影響を及ぼす“負の力”について触れさせて頂きたいと思います。それは、公共職業能力開発施設との競合です。この組織の工業分野は明らかに整備専門学校への入学者を対象とし、整備士を育てるという点において目的は同じ、かつ安い学費の設定により、経済的理由から進学を諦める高校生にとって大変魅力的に映っていると思われれます。

当問題は20年以上前から認識されており、何度か申し入れが管轄される厚労省にされ、多少の是正がされて来たものの、今尚続く状況にあります。18歳人口の減少により牌は減り、定員数に満たない学校も多い中でこうして国が仕立てる学校との競合が起こることは残念ですし、解決に向けて具体的な方策を立てるべきだと思います。

昨年、全専各連（全国専修学校各種学校総連合会）が行った調査によれば特に工業分野、しかも自動車整備学科は15の地域で競合が顕著であるとのことでした。

また、本課題については最近各所で取り上げられており、特に昨

年秋に開催された自由民主党専修学校等振興議員連盟総会においても全専各連より「公共職業能力開発施設における職業訓練の専修学校等との役割分担の明確化」という要望が出ています。記事によれば、会合においては解決に向けた動きが遅い事に対し、司会の方から「もう少し踏み込んで協議が出来る場の設定」を厚労省に求めたとあり、また、連盟の塩谷会長からも「具体的な方策を次の会合には文書で提出して欲しい」と強く求めた、とありました。今こそ具体的なアクションにつながることに期待を寄せています。

競合でなく共存であり、地域ごとのメリハリ、役割の明確化により最終的に自動車整備業界への輩出を増やすこと、これが関係する全ての組織に求められている、と思います。

CONTENTS

- 2面 問われる自動車業界のコンプライアンス意識～行政処分の現状
- 3面 クルマ大好き!、活躍!! 卒業生
- 4面・5面 三級自動車整備士(総合)変更内容一覧(JAMCAニュース編集委員会調べ)
- 6面・7面 協会トピックス・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記